

平成30年第8回弘前市教育委員会会議録

日時 平成30年4月25日(水)
午後2時30分
場所 岩木庁舎2階多目的ホール

◇議事日程

- 1 定足数確認
- 2 開会宣告
- 3 会議録署名者の指名
- 4 会期決定
- 5 臨時代理の報告
報告第4号 臨時代理の報告について
(平成29年度教育費補正予算案に対する意見申出について)
報告第5号 臨時代理の報告について
(史跡津軽氏城跡堀越城跡整備指導委員会委員の委嘱について)
- 6 議案の審議
議案第19号 弘前市教育支援委員会委員の委嘱について
議案第20号 弘前市附属機関設置条例(教育委員会に設置する附属機関に関する規定)の一部を改正する条例案の市長への送付について
- 7 閉会宣告

◇付議事件

議事日程に同じ

◇出席委員

1番 九戸 眞樹 委員、2番 前田 幸子 委員、3番 澤田 美彦 委員、
4番 佐々木 健 委員、5番 高木 恵美子 委員

◇説明のため出席した者の職氏名

教育部長 野呂 忠久、理事兼学校教育推進監 奈良岡 淳、
教育政策課長 菅野 昌子、学校づくり推進課長 三上 善仁、
学務健康課長 中田 和人、学校指導課長 木村 文宣、
教育センター所長 三上 文章、生涯学習課長 戸沢 春次、
博物館長兼高岡の森弘前藩歴史館長 加藤 裕敏、文化財課長 成田 正彦

◇出席事務局職員

教育政策課総務係長 鳴海 貴幸

午後2時30分 開会

○委員長（九戸眞樹委員） これより、平成30年第8回弘前市教育委員会会議を開会いたします。ただ今の出席者数は5名で定足数に達しておりますので、直ちに会議を開きます。会議録署名者に2番前田幸子委員と4番佐々木健委員を指名いたします。会期は本日1日としたいと思いますがいかがでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認め、会期は本日1日といたします。

本日の案件は、報告が2件、議案が2件となっておりますが、事務局より一部議案撤回の申出がございましたので、事務局から説明をお願いします。

○文化財課長（成田正彦） それでは説明をいたします。議案第20号弘前市附属機関設置条例の一部を改正する条例案の撤回について説明いたします。本議案について、議案を提案するための市内部の手續に不足が確認され、再度精査が必要となりましたので、撤回をさせていただきます。

○委員長（九戸眞樹委員） 以上をもって、撤回理由の説明は終わりました。ただいまの説明に対しまして、ご質疑等ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、議案第20号弘前市附属機関設置条例（教育委員会に設置する附属機関に関する規定）の一部を改正する条例案の市長への送付についての撤回の件について、承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議ないものと認めます。よって、議案第20号の撤回は承認されました。

・報告第4号について

○委員長（九戸眞樹委員） それでは、報告第4号臨時代理の報告について（平成29年度教育費補正予算案に対する意見申出について）、事務局から説明をお願いします。

○教育政策課長（菅野昌子） 報告第4号について説明します。本件は地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定に基づき、平成29年度教育費補正予算案に対する意見を市長に申出することについて、その事務処理に急を要したため、弘前市教育委員会の事務の委任等に関する規則第4条第2項の規定により臨時代理したことから、同条第3項の規定に基づき報告するものです。

（以下、別紙予算案により説明）

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの説明に対しましてご質疑等ございませんか。

○3番（澤田美彦委員） 教育振興基金積立金というのは、現在どれくらいあるのですか。

うか。

- 教育政策課長(菅野昌子) 30年の5月末の運用見込みでお答えしたいと思いますが、残高58,186,474円の見込みとなっています。
- 3番(澤田美彦委員) 5千8百万円をどのように有効活用するかということだと思います。
- 委員長(九戸眞樹委員) 使い道は何か予定している、或いは想定されているものがありますか。
- 教育政策課長(菅野昌子) 見込みとなりますが、137万8千円、2件の事業を予定していきまして、1件目がわくわく科学実験事業に対して20万円、2件目が英語教育推進事業に118万7千円を充当する見込みとしております。寄附をされた方が、特定の目的をもって寄附した場合は、その目的に応じ、英語教育にという事であればその目的に沿った事業で、目的が特に指定されていない場合は、取組みの効果等を検証していけるようなモデル事業や、調査研究事業等のパイロット事業の財源として活用していくように考えております。
- 3番(澤田美彦委員) 今年百何十万円ということで、このわくわく科学実験事業というのは、どのような経緯で始まったかは分からないのですが、例えば6千万円近くあるということなので、小学校、中学校の先生に金額を指定してもよいし、これ以内でとかで、何かやりたい事があったら使ってもらおうというのはどうなのでしょう。
- 教育政策課長(菅野昌子) 教育委員会のなかで基金の活用方法を考える際に、直接学校の方に照会をかけるという事は、今までは行っておりませんが、校長会議等いろいろ学校と関わる機会がありますので、確認しながら、なるべく寄附者も教育現場にとっても希望にあった、効果の高い取組み、活用をしていきたいと考えております。
- 3番(澤田美彦委員) 募集をするなどして、もっと有効に使うべきだと思います。
- 委員長(九戸眞樹委員) 考え方として、これまでいろいろな研究会等でやっているでしょうけれども、どこにも属さないような種類の新しい分野が、今どんどん出てきているので、そういう分野の研究事業を募集するとか、あまり高額では無理と思うので、50万円程度とするなど、審査して1年に1件でも2件でも、科学分野と文化分野でそれぞれ選考する方法もあるかもしれません。澤田委員からのご提案ですので、せっかく寄附いただいたお金ですので、それを活かして使う方法を、ご検討いただければと思います。
- 委員長(九戸眞樹委員) 他にご質疑等ございませんか。
(「なし」の声あり)
- 委員長(九戸眞樹委員) それでは報告第4号を承認することにご異議ありませんか。
(「異議なし」の声あり)
- 委員長(九戸眞樹委員) ご異議がないものと認めます。よって、報告第4号は承認されました。

・報告第5号について

○委員長（九戸眞樹委員） 次に、報告第5号臨時代理の報告について（史跡津軽氏城跡堀越城跡整備指導委員会委員の委嘱）について、事務局から説明をお願いします。

○文化財課長（成田正彦） 報告第5号臨時代理の報告について説明をします。史跡津軽氏城跡堀越城跡整備指導委員会委員のうち、関係行政機関職員からの選出の一部委員の退任に伴いまして、史跡津軽氏城跡堀越城跡整備指導委員会運営規則第2条第1項の規定により、補欠の委員を委嘱することについて、その事務に急を要したため、弘前市教育委員会の事務の委任等に関する規則第4条第2項の規定に基づき、教育長において臨時代理したことから、同条第3項の規定により報告するものであります。

（以下、委嘱する者の氏名等について説明）

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの説明に対しましてご質疑等ございませんか。

○2番（前田幸子委員） 初歩的な伺いなのですが、このひろさき未来戦略研究センターは、所長はどなたで、場所はどこにあるのですか。

○文化財課長（成田正彦） 所長は経営戦略部長でして、副所長は課長職となっています。場所は前川本館の2階です。通常の課室と同じような形です。

○教育部長（野呂忠久） 経営戦略部長兼所長という兼務職になっています。

○委員長（九戸眞樹委員） イメージとしては、部局横断の事業などを扱う組織ですね。市の組織でこういうのが、分かりにくいと言われるところなのかもしれません。

○2番（前田幸子委員） 何人くらい職員はいるのでしょうか。

○教育部長（野呂忠久） 経営計画の関係とか、人口対策とか、出会い系も担当しています。

○教育政策課長（菅野昌子） 人数は31名です。

○2番（前田幸子委員） 委嘱期間の10月19日というのは、根拠は何でしょうか。

○文化財課長（成田正彦） 1期2年なのですが、平成28年10月20日から委嘱をしたというところで19日となります。

○2番（前田幸子委員） 委員名簿の中の大学教授の大野先生は、横浜国立大学から、わざわざ会議に5回も来ているのは、えらいですね。

○委員長（九戸眞樹委員） ほかにご質疑等ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは報告第5号を承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議がないものと認めます。よって、第5号は承認されました。

・議案第19号について

○委員長（九戸眞樹委員） 次に、議案の審議に入ります。議案第19号弘前市教育支援委員会委員の委嘱について、事務局から説明をお願いします。

○教育センター所長（三上文章） 議案第19号について説明します。提案理由は、学校及び関係機関から選出の一部委員の退任に伴い、弘前市附属機関設置条例第3条の規定により、補欠の委員を委嘱しようとするものであります。

（以下、委嘱する委員の氏名等について説明）

○委員長（九戸眞樹委員） ただいまの説明に対しましてご質疑等ございませんか。

○2番（前田幸子委員） 委員名簿の木田さん、奈良さん、及川さんは退職に伴うものですか。

○教育センター所長（三上文章） 退任した委員3名のうち木田委員は、市外の学校に異動したため、また奈良委員は支援学校を定年退職したため、及川委員は、弘前児童相談所から異動したことによる交代です。

○2番（前田幸子委員） 増田さんと天海さんが、出席回数が過去2カ年で9回と7回の会議のうち、出席が2回と3回です。1年に1回しか出席していないという事になるので、役職が偉いのでお願いしている部分もあるのかもしれませんが、やはり重要な職務だと思うので、もう少し出席可能な方に、実際に子ども達によい影響を与えるようなことをやってもらえないかなという事が、私の提案です。

○教育センター所長（三上文章） ご指摘の委員については、役職のある立場ですので、重要な別公務と予定が重なって欠席となったと聞いています。事務局から委嘱状をお渡しする際、年10回予定している開催予定を事前にお知らせし、また、大事な会議であるという事を十分説明し、出席頂くようお願いしたいと思います。

○2番（前田幸子委員） 強く言って下さるようお願いいたします。次も同じようであれば、考える必要があるかと思えます。役職が准教授でなければいけないのでしょうか。講師の方でもきちんと出席して、皆にアドバイスが出来る方であれば、別に差し支えないのではないのでしょうか。

○教育センター所長（三上文章） 今後検討し、少しでも解決されるようにしたいと思います。

○委員長（九戸眞樹委員） 他にご質疑等ございませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） それでは議案第19号を承認することにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（九戸眞樹委員） ご異議がないものと認めます。よって、第19号は承認されました。

○委員長（九戸眞樹委員） 続いての議案第20号については、会議の冒頭において議案撤回について承認されておりますので、以上で、本日の会議に付議された案件の審議はすべて終了いたしました。これをもちまして、平成30年第8回弘前市教育委員会会議を閉会いたします。

午後2時51分閉会

会議録作成者

弘前市教育委員会

教育政策課総務係長 鳴海 貴幸

弘前市教育委員会

委員長 九 戸 眞 樹

署名者 前 田 幸 子

署名者 佐 々 木 健